

普通会計決算の推移

(単位:千円)

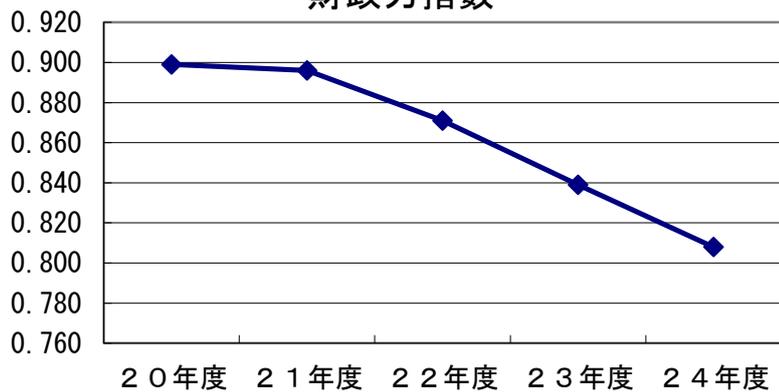
	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
歳入総額	23,762,834	25,460,121	24,475,930	23,894,861	24,843,759
歳出総額	22,460,147	23,695,102	23,164,271	22,452,118	23,196,903
差し引き	1,302,687	1,765,019	1,311,659	1,442,743	1,646,856
翌年度へ繰り越すべき財源	229,537	786,508	350,096	200,446	383,539
実質収支	1,073,150	978,511	961,563	1,242,297	1,263,317
単年度収支	113,655	▲ 94,639	▲ 16,948	280,734	21,020
積立金	473,224	494,072	703,764	474,804	605,000
繰上償還金	-	-	-	-	-
積立金取り崩し額	1,232,311	1,444,282	-	-	831,839
実質単年度収支	▲ 645,432	▲ 1,044,849	686,816	755,538	▲ 205,819
基準財政需要額	10,437,217	10,344,687	10,395,515	10,786,881	10,860,768
基準財政収入額	9,424,681	9,145,186	8,576,166	8,704,773	8,586,289
標準財政規模	13,907,337	14,090,274	14,531,862	14,756,857	14,858,324
財政力指数	0.899	0.896	0.871	0.839	0.808
実質収支比率	7.7%	6.9%	6.6%	8.4%	8.5%
経常収支比率	93.3%	93.2%	90.7%	92.7%	93.5%
公債費比率	7.7%	7.6%	8.1%	8.8%	9.0%
公債費負担比率	10.6%	10.5%	11.4%	12.5%	12.3%
起債制限比率	6.8%	6.4%	6.3%	6.7%	7.2%
債務負担行為比率	4.9%	10.0%	8.4%	6.7%	7.7%
積立金現在高	9,952,793	8,755,686	9,331,464	9,559,089	9,322,404
うち財政調整基金	3,147,658	2,197,448	2,901,212	3,376,016	3,149,177
地方債現在高	18,368,904	19,795,362	20,509,656	20,822,701	21,269,437
債務負担行為支出予定額	4,086,598	3,181,442	2,717,206	2,436,709	1,678,976
地方税	11,318,005	11,026,170	10,712,963	10,633,247	10,662,719
地方譲与税	249,995	235,507	229,934	224,738	212,004
利子割交付金	54,623	44,832	41,209	30,505	25,915
配当割交付金	25,740	20,391	16,089	35,803	29,113
株式譲渡所得割交付金	8,542	10,490	8,808	7,326	8,473
地方消費税交付金	624,351	658,928	657,797	653,828	654,254
ゴルフ場利用税交付金	14,171	12,923	11,972	11,093	10,460
自動車取得税交付金	140,361	92,110	76,333	65,513	60,394
地方特例交付金	158,555	146,397	159,964	151,002	82,153
地方交付税	1,297,981	1,490,276	2,147,037	2,399,662	2,604,283
内訳					
普通交付税	1,007,959	1,190,189	1,819,349	2,082,108	2,273,655
特別交付税	290,022	300,087	327,688	317,069	330,325
震災復興特別交付税	-	-	-	485	303
小計	13,892,324	13,738,024	14,062,106	14,212,717	14,349,768
交通安全対策特別交付金	13,885	14,075	13,447	12,418	11,772
分担金・負担金	170,416	180,378	188,514	242,635	247,643
使用料	379,037	365,410	348,702	396,167	378,913
手数料	217,461	206,436	200,887	208,859	226,371
国庫支出金	1,961,613	3,519,532	3,497,257	3,297,537	3,034,019
県支出金	967,147	973,197	1,273,038	1,269,491	1,306,482
財産収入	46,149	44,119	10,750	23,011	14,900
寄附金	26,182	20,440	176,186	10,178	30,493
繰入金	1,662,903	1,782,909	187,096	305,357	1,038,349
繰越金	1,744,083	1,302,687	1,765,019	1,311,659	1,442,743
諸収入	232,234	286,214	304,628	386,832	308,006
地方債	2,449,400	3,026,700	2,448,300	2,218,000	2,454,300
歳入合計	23,762,834	25,460,121	24,475,930	23,894,861	24,843,759
人件費	5,204,223	5,160,424	5,059,600	5,044,687	5,102,140
うち職員給料	3,747,955	3,657,538	3,540,928	3,467,930	3,520,981
扶助費	3,460,118	3,679,567	4,978,692	5,440,963	5,546,448
公債費	1,859,762	1,907,779	2,035,823	2,195,457	2,279,854
内訳					
元利償還金	1,859,762	1,907,779	2,035,823	2,195,457	2,279,854
一時借入金利息	-	-	-	-	-
義務的経費小計	10,524,103	10,747,770	12,074,115	12,681,107	12,928,442
物件費	3,653,882	3,836,700	3,711,362	3,807,926	3,808,025
維持補修費	448,488	428,286	367,807	377,933	402,723
補助費等	876,040	2,147,709	828,175	869,658	849,108
経常的貸付金等	70,000	70,000	70,000	60,000	60,000
経常的繰出金	1,522,483	1,638,703	1,609,362	1,711,721	1,734,389
経常的経費小計	17,094,996	18,869,168	18,660,821	19,508,345	19,782,687
積立金	589,396	553,780	762,874	532,982	801,662
投資及び出資金貸付金	40,058	35,262	32,693	33,069	30,074
繰出金(経常的繰出金除く)	120,194	187,039	292,876	233,577	312,389
投資的経費	4,615,503	4,049,853	3,415,007	2,144,145	2,270,091
うち人件費	293,952	286,553	284,778	289,071	308,584
内訳					
普通建設事業費	4,615,503	3,931,624	3,415,007	2,138,390	2,269,841
内訳					
補助単独	870,850	182,952	1,005,332	428,141	414,928
災害復旧事業費	3,744,653	3,748,672	2,409,675	1,710,249	1,854,913
	-	118,229	-	5,755	250
歳出合計	22,460,147	23,695,102	23,164,271	22,452,118	23,196,903

※普通会計は地方財政統計上統一的に用いられる会計区分です。

普通会計…一般会計・障害者就労支援センター事業特別会計・霊園事業特別会計・土地区画整理事業特別会計を統合して一つの会計としてまとめたもの

通会計決算の推移

財政力指数

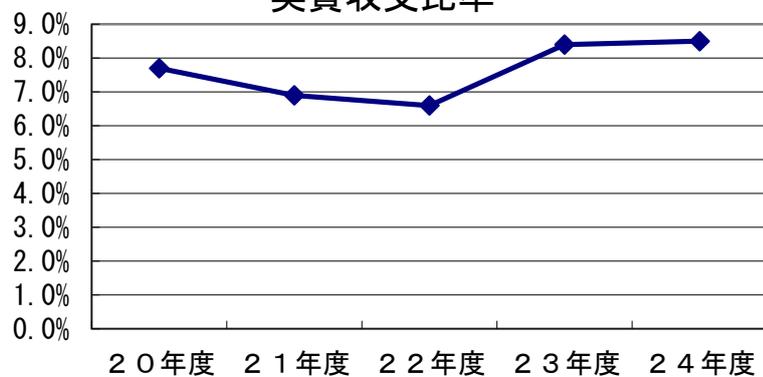


○財政力指数

財政力指数は、地方公共団体の財政基盤の強弱を示す指数で、標準的な行政活動に必要な財源をどれくらい自力で調達できるかを表しており、普通交付税の算定基礎となる基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値の3ヶ年平均値をいいます。

財政力指数が1を超えると普通交付税に頼らないで財政運営を行う不交付団体となります。

実質収支比率

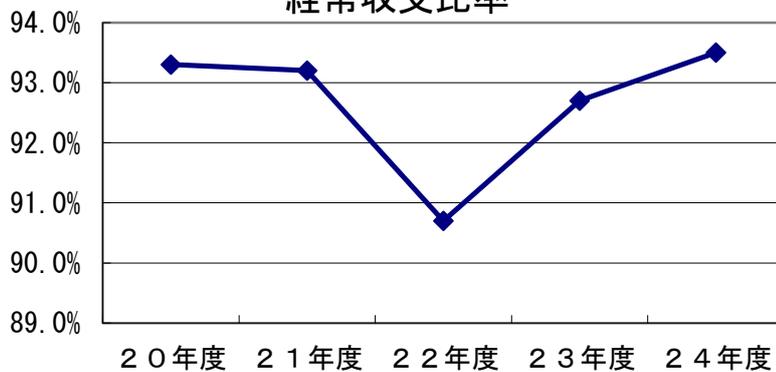


○実質収支比率

実質収支比率とは、標準財政規模に対する実質収支の割合をいいます。実質収支は、その年度に属すべき収入と支出の実質的な差額（形式収支から繰越すべき財源を差し引いたもの）、つまり市町村の「黒字」または「赤字」を意味します。

一般的には、3～5%程度が望ましいとされています。

経常収支比率



○経常収支比率

経常収支比率とは、税などの一般財源を、人件費や扶助費、公債費など経常的に支出する経費にどれくらい充当しているかをみることで、財政の健全性を判断します。この比率が高くなる程、公共施設整備など投資的な経費に充当する財源が少なくなり、財政運営が厳しくなります。

都市にあっては70～80%にあるのが望ましく、80%を超えると財政構造の弾力性が失われつつあるといわれています。

公債費比率



○公債費比率

公債費比率とは、税などの一般財源をどれくらい借入金の返済である公債費に充当しているかの割合を表しています。

地方債元利償還金（普通交付税において災害復旧費等として基準財政需要額に算入された部分を除く）に充当された一般財源の標準財政規模に対する割合です。

一般的には、10%を超えないことが望ましいとされています。